

平成25年度 第3回神岡地域協議会 会議録

- 1 日 時 平成25年8月29日(木) 午前10時から11時35分
- 2 場 所 神岡庁舎3階 大会議室
- 3 会議の次第
 - (1) 開 会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 支所長あいさつ
 - (4) 会議録署名委員の指名
 - (5) 議 題
 - 1) 地域枠予算事業について
 - ① 第2回地域協議会以降に実施された事業の進捗状況報告
 - ② 地域枠予算活用事業申請1件、地域づくり事業補助金交付申請1件
 - (6) その他
 - (7) 閉 会
- 4 出席者氏名
 - 出席委員(12名)
伊藤公仁、工藤昌子、黒川 茂、今野公行、齊藤恵子、齊藤 劭、
齊藤博伸、齊藤由紀、佐々木徹、鈴木和栄、鈴木幸一、鈴木美保
 - 事務局(5名)
支所長 伊藤利之
市民サービス課長 齋藤博美 市民サービス課参事 武藤アサ子
市民サービス課主幹 今野綾子 市民サービス課副主幹 小林和子
- 5 欠席者氏名
 - 欠席委員(4名)
石山美恵子、齊藤 亘、佐々木康浩、中村淑子
- 6 会議録
 - 武藤 参事 本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
定刻になりましたので、ただ今から平成25年度第3回神岡地域協議会を始めさせていただきます。
最初に、鈴木会長からあいさつを申し上げます。
 - 鈴木 会長 皆さん、おはようございます。
早いもので今回は3回目となり、皆さんも慣れてきたと思いますのでどんどん御意見を出していただきたいと思います。
今年の夏というのは大変異常な気象だそうですが、秋田県の場合は

30度を超える日が少なく、日本で一番涼しい地域ではないかと思っております。

今日の案件は地域枠予算事業についてであります、その他というところで2～3の項目がありますので皆さんからご意見をいただきたいと思っております。今日はよろしくお願ひいたします。

支所長あいさつ

本年度第3回目の地域協議会をお願いしましたところ、委員の皆様には何かとご多忙ところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

さて、本日の協議会でご審議いただく案件は地域枠事業についてでありまして、地域枠予算活用事業が1件と補助金申請が1件であります。

それでは、前回の地域協議会以降の支所管内にかかわる出来事について、いくつかご報告させていただきます。

最初に6月26日には市政懇談会が神岡福祉センターで行われました。これは昨年から行われている懇談会で、市議会議員による市政の報告と平成25年度予算の主な内容についての説明がありました。

今、市議会議員は28名いるわけですが、そのうち8名の議員の皆さんが来て説明及び意見交換をいたしました。

意見交換会の中では、仙北組合病院の駐車場の件について住民の方からいろいろな質問が出ました。また防災関係では、2年前に水害があったことからこれまで何回も話題にあがっております雄物川の築堤の件についても意見交換が行われました。地域の住民の方の出席は23名でした。

6月30日には神岡地域消防訓練大会が行われております。これには小型ポンプ操法の部で第4分団（大浦と八石の地域の消防分団）の2班が優勝しております。

それから6月30日の結果をふまえて、7月20日に大仙美郷仙北支部の消防訓練大会が行われております。その場で小型ポンプ操法の部は参加14チームの内9位という成績でありました。今日は出席されておきませんが、齊藤亘委員と息子さんの親子共演ということで新聞にも記事が載っております。

規律訓練の部の方は、第3、4、5分団の混合チームでありましたが、残念ながら参加14チーム中14位となっております。

続きまして7月12日～13日の大雨の水害状況について報告いたします。今回の最高水位は6m38cmを記録しております。7月12日の午後11時40分にその最高水位となっておりますが、それ以降少しずつ水位が下がっております。残っている記録では2年前の7m74cmの最高水位に次ぐ2番目の水位となっております。

被害状況については住家の床下浸水が2棟、非住家の床下浸水が3棟（事務所、工場等）、農地については畑の冠水が31町歩、草地の冠

水が20町歩となっております。

それから7月12日の夜には、支所の2階に避難所を設けております。夜7時半頃だったと思うのですが、2年前に床上浸水になった住宅の方に避難勧告をいたしまして、避難所を開設しました。2世帯4名の住民の方が7月12日の夜に支所の2階で1泊しております。

7月27日には、第34回東京嶽雄会が有楽町ニュートーキョー本店で行われました。今回は嶽雄会員29名が出席されております。全体では250名くらいの会員がいるとのことですが、実際に年会費を払われている方が60～70名とのことですので、そのうち半分くらいが出席されております。

最年少は平和中学校の16期生で60歳の方です。ここ数年、若い会員の参加率が悪くなったということで、嶽雄会の本部ではそちらの方を気にしておりました。

総会が終わった後、交流会が行われました。今回は民謡ショーということで北檜岡出身の古屋英竜さん（本名 金重さん）という69歳の方で、平成10年の郷土民謡全国大会で総理大臣賞をとり日本一にもなったという方の民謡ショーが盛大に行われております。

8月3日には、国道13号バイパスが全線開通したということ記念いたしまして、道の駅横の国土交通省所管の除雪センターを会場にしてフォーラムが行われております。参加者は約180名ほどでした。

秋田大学の浜岡准教授の基調講演のあとフォーラムが行われました。パネラーとして大仙市長、国交省の湯沢河川国道事務所長、前町長の今野正彬様、道の駅の佐々木駅長を迎え、バイパスが完成するまでの経緯や2年前の災害時の国道13号の重要性についての話が出されました。また、道の駅が今後こうあって欲しいというようなことについても意見が出されております。

最後に7月14日～7月15日まで、第55回大仙仙北スポーツ少年団野球大会が行われております。その大会で神岡野球スポーツ少年団が、実に47年ぶりに優勝しております。1回戦から決勝まで4試合ありましたが、すべて大差をつけての圧勝でした。

その大会の優勝、準優勝チームが参加して8月2日～8月5日まで全県スポーツ少年団野球大会が行われました。この大会においても初戦が3対1、2回戦が9対2、準決勝では船川第1小クラブを11対4、決勝では浜口小クラブを11対3で破り、圧倒的な力で見事初優勝しております。その日は、北檜岡、神宮寺地区を優勝パレードしております。久々にうれしいニュースでした。

以上、報告を申し上げまして開会のあいさつに代えさせていただきます。

武藤 参事

このあと会議の議長は、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、鈴木会長にお願いいたします。

鈴木 会長 それでは会議を始めます。
本日は石山美恵子委員、齊藤亘委員、佐々木康浩委員、中村淑子委員から欠席の届けが出されております。
委員の2分に1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。
次に、会議録署名委員の指名を行います。
会議録署名委員は、神岡地域協議会運営規定第7条第2項により、8番 齊藤博伸委員と、9番 齊藤由紀委員にお願いいたします。

続きまして、議題の1に移ります。議題1 地域枠予算の事業については、2件の事業が申請されておりますので、申請事業について協議したいと思います。
申請事業について事務局から説明をお願いいたします。

【会議資料に基づき説明 今野主幹】

- 第2回地域協議会以降に実施された事業の進捗状況報告
- 地域枠予算活用事業申請1件、地域づくり事業補助金交付申請1件

鈴木 会長 ただ今、事務局から地域枠予算実施計画の進捗状況並びに、今回申請された2件について説明していただきましたが、それでは一つ一つの事業について、協議していきたいと思います。

初めに、北檜岡「納涼の夕べ」実行委員会からの申請事業についてはいかがでしょうか。

齊藤 功委員 報告のようなかたちになりますが、今回で7回目になります。今までは高齢の方たちとお孫さんという参加状況でしたが、今年から参加してくださる世代が変わり、若いお母さんたちや30代くらいの参加者が目立つようになりました。前から参加しているお年寄りの方たちからは「やっと活気づいてきたよな」などの声も聞かれていました。これも偏に実行委員長の鈴木さんが様々なアイデアを凝らして頑張ってくれたのだと思っております。

前には盆踊りなど様々な行事があったのですが、何もなくなった状況の中でこの納涼を始めた結果、年に1回北檜岡地区だけにかかわらず、八石地区など他の地区からお出でいただいて盛大に開催することができました。お礼の言葉を申し上げます。

鈴木 会長 何か質問やご意見がありましたらお願いします。
北檜岡だけが補助金を使って納涼祭をやっていることは少し心苦しいところがありますが、後ほど、その他のところでお話をしますけれども、これを広めていけるようにいろいろ工夫をしていきたいと思っております。

他に質問、ご意見がなければ承認されたものとします。

次に残月花火大会事業について審議させていただきたいと思います。

齊藤博伸委員 資料の数字の確認ですが、10ページの事業収支予算書の前年度予算額のところに支出合計1,851,000円という数字が出ています。資料4の4ページ、平成24年度地域枠予算事業申請状況の11番のところを見ますと、事業費総額の中の予算額が2,940,000円、決算額が499,234円となっており、こちらの団体の申請とこの資料の数字が大幅に違っておりましたが、これはどうしてなのでしょう。

鈴木 会長 この資料を見てわかりますか。
今野 主幹 資料4の平成24年度地域枠予算事業申請状況の表については、こちらの方で資料を作る際に実績報告を確認のうえ作ったものありましたが、齊藤委員のお話の通り25年度の申請に出された事業収支予算書の前年度の金額と少し違っていることがわかりましたので、どちらが正しいのか確認させていただきたいと思いますのでお時間をお願いいたします。

鈴木 会長 ということは、今回の事業収支予算書はあまりあてにならないということですね。これを次回まで先延ばしにすることはいいですか。
今野 主幹 今回、申請のあった予算書関係につきましては検算しておりませんでしたので、大変申し訳ありません。
青年会議所の方の担当者も毎年変わるそうです。前の資料を基に今回も申請書を作成したとのことですが、どの程度確認していただいたのかは、申し訳ありませんがわかりません。今年度、申請のあった収支予算書の方がどうも違っているのではないかと思います。

齊藤博伸委員 確認するためには、24年度の申請書類を調べるのが一番いいのではないのでしょうか。

今野 主幹 それでは確認してきますので少々お待ちください。
鈴木 会長 今野さんが確認している間、8月9日に行われました会議について説明させていただきます。
地域協議会の会長や副会長が集まり、第1回目の会議が開かれました。今回が第1回目となっておりますが、協議会ができて間もない頃に2回ほど開かれております。おそらく、そのころの担当者がほとんどいなくなったために1回目ということになったと思います。
内容としては、会の会長、リーダーとしての心構えなどについてで、研修会のようなものでした。
かねてから皆さんにお約束しておりました、地域協議会の地域枠予算の使い道について意見を申し上げてきました。自治会がイベントを行う場合、単独ではできないが2～3まとまると行うことができることや、それぞれの地域に事情がありますので、もっと自由に使えるように地域協議会にまかせてほしいという意見をさせていただきました。
そうしたところ他の地域協議会からも、それぞれの地域の事情を察し、あまり枠をはめないで地域協議会を信じてまかせてほしいという意見が出されました。市当局は検討してみますということですが、その回答はまだ返ってきません。今年はもう1回くらいあるようですので、その時にもっといい答えが出るのではないかと考えております。

ただ今、今野さんが帰ってきましたので続けてお願いします。
今野 主幹 お待たせいたしました。今、今年度の資料を確認してきましたとこ

ろ、今年度に申請が出された収支予算書の中の前年度の金額が違っておりまして、さっそく青年会議所の方に連絡をいたしまして差し替えをお願いすることにしたいと思えます。

今年度については25年度の予算額が1,552,000円となっておりますので、その中の200,000円を補助金としてお願いしたいということです。どうか、よろしくご審議いただけますようお願いいたします。

鈴木 会長
齊藤博伸委員

皆さん、このような状況で進めてよろしいでしょうか。

詳しく中身を見たところ、24年度の地域枠予算の中に旅費、交通費が500,000円ほどありますが10ページの方にはありません。たぶん、これは被災地の方から人を呼んだりした分だったのではないかと思います。今年はそれが無いので、省いてしまったのかなと思います。それを引くとだいたい1,900,000円くらいの数字になります。

鈴木 会長

そういうことも考えられますね。詳しい内容については、次回でなければ報告できないと思いますが、皆さん、いかがですか。

このような残月花火の主旨に添って話を進めてよろしいでしょうか。

それでは残月花火に関して皆さんからさらに幅広いご意見をいただきたいと思えます。

なぜ神宮寺地区で残月花火大会をやって補助金を地域協議会から出さなければならないのかということについて、思い出したことをお話しします。

確かに1回目に申請があった時には、皆さんからいろいろなご意見がありました。当初、笹倉公園で大きな花火を上げたりするなど、神岡地域で独自に行っていた行事のようです。それを行っていた組織がなくなって、青年会議所が引き継ぎ、それまで行っていた神宮寺でその事業を行いたいということでした。

そのようなことから、地域にメリットが無ければ意味が無いのではないかと、地域の農協婦人部、直売所関係、商工会の皆さんからいろいろな物を提供していただき、PRも兼ねてという条件で許可したと思っております。今回の申請にも、神岡地域の特産を景品にすることになっております。

齊藤博伸委員

たしか、大曲の地域協議会の地域枠でやっていたものが、市の方から開催地域ということでこちらの方にまわってきたように思っております。

鈴木 会長

毎年少し見るのですが、天気が良い時ではないので、なぜ11月3日に行うのかわかりますか。何となく喜んで参加したいと思えないあの泥んこ状態ですが、今は全日本大会で参加人数がかなり多くなっています。いずれは世界大会になるのではないかと思っております。

以上のように知っている限りの事情をお話しましたがけれども、皆さんから質問、ご意見をお願いしたいと思います。

鈴木 会長

それからもう1つ、神岡地域の方が中心メンバーになっている凧揚げ同好会というのがあるそうです。できればということで、まだ詳し

くは話し合ってはおりませんが、残月花火大会に合わせて凧揚げ同好会による凧揚げのデモンストレーションを行いたいとの申し出がありました。まだ残月花火大会関係の方とは打ち合わせをしていないようですが、そのような話もあるということを皆さんに覚えていただきたいと思います。

皆さんからの質問・ご意見がなければ、ただ今上程されました北檜岡納涼祭、残月花火大会の2件の予算補助金の申請を原案通り承認してもよろしいでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

鈴木 会長 異議なしという声がありますので、原案通り承認されました。議題のその他になりますが、事務局の方からお話があります。

【会議資料に基づき説明 今野主幹】

- ① 大仙市小規模・高齢者集落等コミュニティ対策に係る意見書について
- ② 第2回地域協議会における確認事項について
- ③ テントの購入について

鈴木 会長 ただ今、その他のところで3つ説明していただきましたが、テントについては正式に議題に上げてここで承諾を得て、ゴーサインが出たら購入するという段取りですか。

今野 主幹 申請書はないのですが、まず見積もりを取らせていただきましたので、皆さんがこれだったら準備して使ってもらった方が良いのではないかとおっしゃってくださるようでしたら、ぜひ購入させていただきたいと思います。

この後、県の事業のコミュニティ助成事業にテントを購入していただけるよう10月か11月頃に申請を出す予定です。しかし、なかなか激戦のようなので、申請しても必ずいただくことができるということでもないようです。とりあえず、今、購入するとなれば全く予算がない状態ですので、地域の皆様も数多く利用しているテントをぜひ地域枠予算でお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

鈴木 会長 もし買うとなるとこれは何型になるのですか。

今野 主幹 これは申請書が出ておりませんが、必要と認められる場合はI型ということで、市が事務局となって対応させていただきたいと思っております。

鈴木 会長 大変良い事例が出ました。I型だそうです。

前後はしますが、このテントの件からご意見を伺いたしたいと思います。いずれこれを購入しても、別の機会にも申請するということですね。

齊藤博伸委員 1ページのこのテントですが、現在あるテントと大きき的にはどうなのでしょう。

今野 主幹 現在あるテントが3m×6mのサイズとなっております。そちらとサイズは同じです。業者が2業者で同じ物を見積もってもらったわけではないのですが、こちらの方で現在ある物と同じような物だったら

どのくらいで求めることができるのか一応見積もりを出していただきました。1ページ目については先ほど申し上げたように修繕が部品の取り寄せで容易にできるものです。

それからお願いしたいのが、3ページ目の現在あるフレームに付ける屋根部分の購入です。フレームも新しく買うと2ページにありますように170,000円ほどかかるのですが、その半分以下で屋根部分だけ購入するともう一張りが活用できることとなりますので、1ページ目と3ページ目の金額でお願いできればと思っています。

齊藤博伸委員
今野 主幹
齊藤博伸委員

たしか青い物で、広げて使用するテントですよ。

はい、そうです。

今とサイズが同じで、こちらで安く部品調達ができるというのであれば、1ページ目と3ページ目が一番いいのではないかと思うのですが、皆さんいかがでしょうか。

鈴木 会長

2ページ目は同じサイズのテントだけれども、高いということですね。

今野 主幹

はい、そうです。現在あるものと同じものを購入する場合は、このくらい値段がかかるということです。こちらは、もし壊れた場合には京都にある製造元でなければ修繕ができないようなかたちになっているようです。

鈴木 会長
佐々木徹委員
鈴木幸一委員

やはりテントは必要でしょうね。

1ページ目の134,400円というのは、一台のことですね。

昔の鉄製の物とは違うので壊れやすいですから、貸し出しするときは気をつけなければいけませんね。

今野 主幹

フレームがアルミになっておりますので、足下にウェイトを備え付けて使っていただくようにしておりますが、激しい風には少し弱いところがあります。以前のテントよりは、頑丈ではありません。

以前の鉄柱が重く、6人くらい人がいないと設置することができないテントもないわけではないのですが、それを借りていく方もおりませんので、こちらの方でも持ち運びの便利なワンタッチ式のをフルに活用していただいている状態です。

今後、貸し出しする際には取り扱いに十分注意をしていただいて、大事に使っていただけるよう気をつけていきたいと思っております。

鈴木 会長

買った場合は、このテントはどこの物になるのでしょうか。市の物になるのでしょうか。

今野 主幹

購入するとすれば市の予算で備品購入費から支出されることになると思います。ですから、市の所有物ということになります。

鈴木 会長

たとえば、これがまた風などで壊れた場合、保険などはあるものですか。

伊藤 支所長

これに保険はありません。金額的にも十何万円くらいの物ですので、こちらは完全に修繕料で、市の方でその都度直すことになると思います。

鈴木幸一委員

風に飛ばされやすいので、風がひどい時には片付けないといけないですね。

伊藤 支所長

一つ例があります。昨年の花見の時期に中川原にテントを一つ設置しました。もちろんウェイトも置いたのですが、花見の期間中に一日

だけ強い風が吹いたためテントが飛ばされて壊れてしまったことがあります。そのようなことから非常に注意して使わなければいけないと思っておりますので、今年からはテントを設置しておりません。

鈴木 会長

その他に何かありませんか。

今年も風でテントが一つ飛ばされて壊れたという話もありましたので、原則としては風が強い時は片付けるということでしょうか。

皆さん、承認してよろしいでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

鈴木 会長

②の地域枠予算活動費の審査基準を教えてくださいということと、予算が使える範囲や使い方についてという私たちからの質問に丁寧に答えていただきました。これに関して齊藤 功委員いかがですか。

齊藤 功委員

この資料というのは大仙市全体ですね。これは神岡地域、そのものではなくて、大仙市の地域枠予算の範囲ですよね。こちらは理解しているつもりでしたが。この地域が特別変わっていると思っておりますので。

鈴木 会長

よろしいでしょうか。

このように三つに分けているということは、分かったようで分からないことがたくさんありますね。例えば納涼祭に置き換えればⅢ型になると思います。

齊藤 功委員

ここで議論して良いものかはわかりませんが、少し理解が個人個人で違うのかなという感じがします。例えば納涼祭は、私はⅢ型だと思いますが。

鈴木 会長

なかなか理解するには難しいところがあると思います。

齊藤 功委員

先ほど会長さんが会長会議でおっしゃった通りに地域で独自で解釈しながら、地域に合わせた予算執行をしていけばいいのではないかと思います。

鈴木 会長

それから①の大仙市小規模・高齢者集落等コミュニティ対策に係る意見書についてですが、これは今年中にまとめれば良いということですが、どういう手順になりますか。

伊藤 支所長

２年前だと思うのですが、地域ごとに市への提言を出すことになり、委員の皆さんから各々集約していただき、神岡地域の提言ということで市の方に提案したことがあります。

先ほど主幹が話をしたとおり、１２月中に委員の皆さんから各々に記載して出していただくという日程が良いと思います。そして来年になってからこの協議会で話し合っただけであれば、神岡地域としてはこのような意見を提出しましょうというような流れで良いと思いますが、いかがでしょうか。

鈴木 会長

ここでは、今までに班を作っていましたから、ある程度班の方で出してもらってから全体会議にもっていった方が良いのではないのでしょうか。

伊藤 支所長

一人一人ということではなく、班でということですね。今回は班割りはまだですが、三つの班がありましたね。

鈴木 会長

今回のテーマは、その班ではどうにも収まりきれないものがありま

伊藤 支所長 すので、そのあたりを事務局の方でいい案を出してほしいと思います。
班割りのことも踏まえて、意見書の提出については次の協議会まで
こちらの方で原案を作らせていただきます。次の協議会は、10月末
か11月の初めの予定です。

鈴木 会長 あまりにもテーマが大きすぎるものですから、はたして協議会で
できるかどうか、おそらくあまりたいしたことはできないと思いますが。

齊藤 功委員 これは一人一人が全部の項目を書き埋めることは、非常に難しいと
思います。やはり、各々の元の団体や組織の中で抱えている問題など
をある程度全部上にあげてやらなければならないということでもない
ですよね。

鈴木 会長 例えば私が少し思ったのは、自治連の方では10月下旬から地区座
談会が始まります。その地区座談会の際にこのような課題についてそ
の地区ではどのような意見があるのかを集約しようかなと思っています。
一応このような項目に分けて話をしますが、全部の項目の話が返
ってくるとは思いません。その地区によって違うでしょうから、それ
を書き留めてこようかなとは思っています。

齊藤博伸委員 これは協議会だけでまとめてという意味ではなく、例えば各自治会
などから集約して出たものを協議会で話をして、協議会としてはこう
ですよと出す方法であるのか、それともこのような枠の中で話し合い
をして書くものなのか、どういうものなのでしょう。

今野 主幹 委員の一人一人の意見を聞けというのであれば、何も他に聞くこと
はないですね。

鈴木 会長 この宛先は地域協議会御中となっております、この会議の際には
協議会の委員の皆様のご意見をいただきたいような話はありませんが、
項目を一つ一つ確認してみますと個人の意見を申し上げるような内容
がたくさんありますので、対応策などはどうしても出せないような項
目もあるのではないかと考えられます。

齊藤博伸委員 まとめについては、地域協議会としてのまとめになるかと思いま
すが、地域協議会の委員の皆様は地域のそれぞれの代表でありますので、
自治連の齊藤会長さんが申し上げたように10月末に座談会もあると
のことでしたので、その座談会で皆様のご意見をいただくようお願い
ができないかなと、齊藤会長さんのお話を聞いて思ったところ
です。齊藤会長さんは、自治会連合会の代表としての委員の立場
ですので、それは決して協議会の意見ではないということにはならない
と思いますが、いかがでしょうか。

鈴木 会長 これについては、あまり深刻に考えるときりがありませんね。
齊藤博伸委員 一ついいですか。実際小規模・高齢者集落コミュニティ対策に神岡
は現在、ほとんど該当する集落ではないということですが、今後その
状態にあるということ想定して進めていくようなかたち
ですよね。

鈴木 会長 たしか、そういうことですね。
今野 主幹 齊藤博伸委員のおっしゃったとおりです。
先ほど会長から三つの班に分かれて検討をしてみたらということ
でしたが、班編制はこちらの方でまだ確定はしていません。
いずれ班ごとに協議していただく内容としましては、翌年度の事業計

画などでありますので、例年でありますと1月の末くらいまでに各班の委員の方からいろいろな意見を出していただいて、それを翌年度の実施計画に入れさせていただいております。ですから年内と申し上げましたが、班会議を開く場合はまた皆様にご足労をお願いすることになりますので、年内は無理かと思われませんが翌年度の実施計画を策定する前に委員の皆様のご意見をいただいておりますので、その際に合わせて検討していただけたらいかがでしょうか。班会議は例年、2月に開催しております。

鈴木 会長 それでもいいのですが、自分のテーマを考えなければいけないのであるべく早く班編制をお願いします。次までだいたい班編制を出してもらって、その上で自分のテーマを決めて熟慮して2月を迎えたいと思います。

今野 主幹 次回まで班編制の原案を作っておきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

鈴木 会長 それでは、このようにしたいと思っております。

この班編制というのは、おそらく神岡地域協議会だけで作っているものようで、この前の会長・副会長会議の時にもこのような例が出ていましたので、ぜひこれを活用して進めてまいりたいと思っております。他に何かありませんでしょうか。

なければ、今日の協議会を終わらせていただきます。

今日は本当に最後までご苦労さまでした。

